

1. 令和6年3月24日（月曜日）10時00分から正午
2. マイドームおおさか 4階 セミナー室
3. 議事

（1）会長の選任について【審議事項】

（評価委員）

経営支援に係る経験と専門的知識の豊富な岡崎委員を推薦する。

（事務局）

推薦に基づき、岡崎委員に会長をお願いする。

（2）令和6年度 事業変更計画の承認（案）について【審議事項】

（評価委員）

経営相談支援事業について、規模の大きい団体が減額申請をした理由は何か。

（事務局）

経営指導員の体調不良等により計画上の支援件数の達成が見込めず、また金融相談の件数についても当初の計画より少なかったことが理由である。なお、令和7年度の計画については、達成できる見込みである旨を確認している。

（評価委員）

団体内の人員体制に関わらず、事業者は相談のため来所し、それを断ることは難しいが、相談を受け入れられない状況だったということか。

（事務局）

経営相談については、補助金の交付を受けるにはカルテを記載する必要があるが、カルテを作成せずに自団体負担で対応したと推測される。

（評価委員）

逆に、大きく増額している団体については、変更申請している件数を達成できる確証はあるのか。

（事務局）

今年度に関しては経営指導員からより積極的なヒアリング等を行ったため、件数が伸びたことや、カルテを記載できる体制が整ったことが増額要因である旨を確認している。

（評価委員）

説明の内容や、カルテが数百件増加したことを踏まえると、本事業は、過去に人件費補助から事業費補助に切り替えたが、実態として、人員体制の面で支障が生じているのであれば、その点を踏まえて、本事業の見直しに反映させてもらえればと思う。

（評価委員）

事務局案どおり承認する。

（３）令和７年度 地域活性化事業の採択（案）について 【審議事項】

（評価委員）

事業内容や指標を得点化する手法を採用しているが、実施後、評価する際に、目標の達成度を総合点数と照合してはどうか。

（事務局）

事業評価の際に、委員の指摘事項を反映して対応する。

（評価委員）

地域活性化事業については、基礎単価で決めているのか。

（事務局）

基礎単価によりつつ、内容により独自単価を採用している。

（評価委員）

府施策連携事業のうち、団体から連携希望がなかった項目については、今後、府として推奨していくのか。

（事務局）

団体の意向を尊重しつつ、各項目の担当課において、今回の結果をふまえつつ、推奨すべきか検討する。

（評価委員）

事務局案どおり承認する。

（４）令和７年度 商工会等支援事業について 【審議事項】

（評価委員）

商工会等支援事業の「経営指導員 OJT 事業」とあるが、団体内で実施するものではないのか、どのようなものか。

（事務局）

大阪府商工会連合会から各商工会に対し、特に新任経営指導員の支援スキル向上のため、連合会職員等を派遣するもの。

（評価委員）

「商工会等における業務・組織運営の改善支援事業」について、本事業を実施した背景には人材不足が理由にある。今後、トップカテゴリーの企業以外は人材不足が深刻化していくため、システムの活用を含め、効率化をどんどん進めていくべき。

（評価委員）

同事業を進めるにあたり、何か障害となっていることはあるのか。

（事務局）

各団体で導入しているシステムの違いや IT リテラシーの違いがある。

（評価委員）

IT リテラシーの部分は、大阪府商工会連合会がフォローしないのか。また、高齢の方が退職されるのを待つ状況になっていないか。

（事務局）

各団体に専門家が訪問して、若手職員も含めた多様な意見をヒアリングし、内容に反映させている。

（評価委員）

各団体は前向きに取り組めているのか。

（事務局）

人材不足の状況に危機感をもっている団体も多く、積極的に取り組んでいる。

（評価委員）

特にシステムの導入については、若手が担当すると変わっていきやすい。また、現場に任せきりになるとIT化は進まない。自分の仕事を回すということと、組織を回すということをつなげて考えられる人でないと難しい面もあるので、それらの点を踏まえて事務局も関わってはどうか。

（事務局）

各委員のご指摘をふまえ、対応していく。

（評価委員）

事務局案どおり承認する。

（５）小規模事業経営支援事業の効果的・効率的な事業運営に向けた検討について 【審議事項】

（評価委員）

まずは過去からの経緯を分かりやすくしてほしい。また、経営相談支援事業について、カルテを書くことが仕事になってはいけないというのはあるが、対象経費の紐づけがわかりにくい。

（事務局）

経営相談支援事業について、人件費補助から事業費補助に変わった際、カルテ毎に必要な単価を設定した。今回の見直しにおいて、他の支援メニューの見直しに係る要望もあったが、特定の支援メニューを使う団体もあれば使わない団体もあることなどをふまえ、皆が活用する「事業所カルテ・サービス提案」メニューの単価見直しをすることになった。

また、対象経費については、多くが経営相談にかかった人件費となっている。

（評価委員）

経営相談支援事業の実態調査について、調査対象の抽出方法はどうなっているのか。

（事務局）

団体で任意で選択できることのないよう、事務局がサンプリングしている。

（評価委員）

経営指導員の要件変更について、経営指導員に関する現状の基礎数字（指導員数等）があると議論しやすいのでは。また、要領変更案について、説明によっては、誤認を与えかねないので、留意していただければ。

(事務局)

ご指摘に対し、適切に対応していく。

(評価委員)

経営指導員の要件変更及び地域活性化事業の必須事業の設定について、事務局案どおり承認する。

(6) 令和7年度 事業計画の承認(案)について 【審議事項】

(評価委員)

団体によっては、今回変更申請で経営相談支援事業を増額しているところがあるが、その団体は、令和7年度の経営相談支援事業の計画数も、令和6年度の当初計画どおりで出しているのか。

(事務局)

団体がどの事業に力を注力するか、検討をした結果として計画を提出しているため、経営相談支援事業の金額について、増減が発生している。

(評価委員)

計画をしっかりと作成し、変更申請の際に大きく上振れしたり、下振れることのないようにしていただければと思う。

(事務局)

経営相談支援事業や地域活性化事業の計画数・金額の推移を確認しながら、団体と議論し、対応していきたいと考える。

(評価委員)

事務局案どおり承認する。

(7) 利用者満足度調査アンケートの変更(案)について 【報告事項】

(評価委員)

意見なし。

(8) 令和6・7年度 大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会スケジュールについて

【報告事項】

(評価委員)

意見なし。

閉会